

ビジネスサポート Bingo11 月度定例研修会

人工知能(AI)の開発を自社で行う第一歩

フルカワ技研 古川 昇

I はじめに(BSB に届くスパムメールの識別)

(1) Cloudmark フィルタ：米国サンフランシスコ市にある Cloudmark 社のフィルタ：

全世界のユーザーから迷惑メールの情報収集して解析

(2) SVM フィルタ

SVM(Support Vector Machine)とは識別器の一つ。話を簡単にするために、2クラスのデータセットにします。

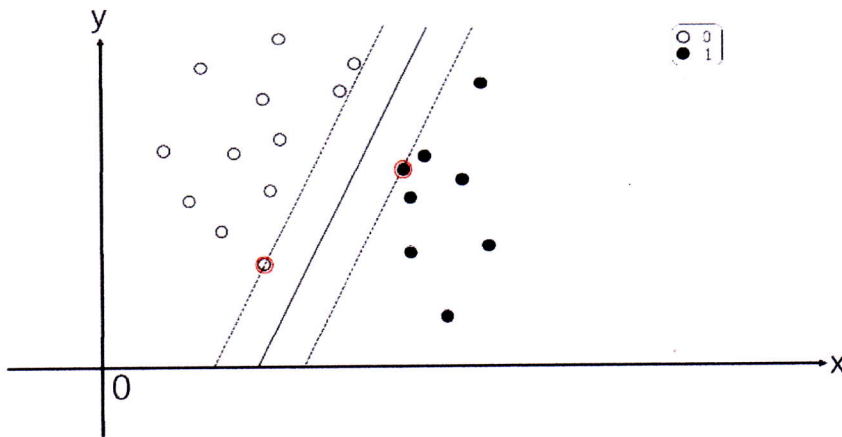


図1 線形 SVM(Support Vector Machine)の識別境界

○：サポートベクトル

II AI 開発の先行事例から学ぶこと。ディープラーニングの「画像」への適用例

III 中小企業にとって、AI の開発を何から始めるべきか。

まずは API の活用！

IV GCP(Google Cloud Platform)による API(Application Programming Interface)の活用

①OCR(Optical Character Reader/Recognition)光学的文字認識

②音声認識

V インテル社の AI 無料開発環境の動向にも注目

VI 人工知能セミナー(12/7(土))の紹介

VII まとめ